

# JTA公認翻訳専門職資格試験【英語】

〔Certified Professional Translator〕

## Language & Cultural Competence Test 傾向と対策

これから「JTA 公認 翻訳専門職資格試験」の英語部門、Language and Cultural Competence Test 対策として、昨年12月7日に実施された過去問題の一部を題材に解答の仕方を学んでいきましょう。

日英翻訳や英日翻訳を行うための基本的かつ重要な考え方があります。その考え方をまとめたものが、〈翻訳英文法のルール〉、そして〈Plain Written English のルール〉です。翻訳英文法とは、単なる英文和訳や和文英訳ではなく、「翻訳」の基礎的な事項を、いくつかの文法上の観点から体系的に述べたものです。また、Plain Written English とは、英文ライティングを中心とした英語でのコミュニケーションをできるだけ効率的、効果的に行うための方法を述べたものです。こちらもういくつかの切り口から詳細なガイドラインを導き出しています。

では、翻訳英文法や Plain Written English のルールをいくつか取り上げて実際の問題の解答を試みてみましょう。各ルールの解説に続いて、CPT 試験の出題形式に従った例題を示します。まずご自分で解いたあとに解答を見て確かめてください。

### 1. 「主語を表す所有格の訳し方」—翻訳英文法のルール No.3

名詞や代名詞の所有格には、単に所有を表す以外にもいろいろな働きがあります。たとえば、Albert's refusal to help me was a great disappointment.

というセンテンスを考えてみましょう。Albert's refusal to help me をそのまま訳すと、「アルバートの私への援助の拒否」ですが、これでは分かりやすい訳とはいえません。そこで refusal に注目し、誰が何を拒否したのかを考えてみると、所有格 Albert's が refusal の主語の働きをしていることが分かります。つまり、動詞を用いてこの部分を書きかえれば、Albert refused to help me ということです。センテンス全体の訳文として「アルバートが私を助けるのを拒否したのは大きな失望だった」と考えることができます。さらに、a great disappointment に含まれている意味も読み取り、誰が失望したのかを考慮します。このように読みほどこくことで、「アルバートが助けてくれないので、私は大変失望した」のような、より自然な日本語訳が考えられます。

では、次に示す二つの例題を解いてみましょう。問題に続いて解答も示します。

#### 【問題例】

[1-1] 次の英文に相応しい自然な日本語訳を選びなさい。